

科目番号	47	科目名	レジャー・レクリエーション論		
英文科目名	Study of Leisure and Recreation				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担当教員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	未定	会場			
授業期間	2024年4月17日(水)～2024年7月17日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 15 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)			65	%
	レポート試験(期末)			5	%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(授業中盤の確認テスト)			30	%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	本試験だけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。従って普段の授業で重要と指摘された点は確実に覚えること。				
<講義概要・到達目標>					
日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月17日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説			
2	4月24日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か			
3	5月1日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か			
4	5月8日	日本人の余暇生活			
5	5月15日	諸外国における余暇生活			
6	5月22日	前半までの授業のまとめと確認			
7	5月29日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味			
8	6月5日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味			
9	6月12日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル			
10	6月19日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル			
11	6月26日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例			
12	7月3日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法			
13	7月10日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用			
14	7月17日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション			
<教科書・参考書>					
教科書は特に指定しない。					
【参考文献】					
『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不味堂 1997					
『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994					
『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007					
『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997					
『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004					
『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007					